

2008 年

大東島地方の気象トピックス



平成 20 年 11 月 8 日 10 時 30 分頃、南大東島の南東約 5 km 海上で発生した竜巻
【写真提供：島まるごと館 東氏】

平成 21 年 1 月
南大東島地方気象台

1. 概況

<1月>

期間前半は、高気圧に覆われて晴れる日が多く、その後は気圧の谷や前線の影響と大陸高気圧の張り出しにより、曇りや雨の日が多かった。

月平均気温は 19.0 で平年に比べて +1.5 とかなり高く、「月平均気温の高い方から」の観測史上 4 位を更新した。

<2月>

高気圧のへりや気圧の谷の影響を受けて曇りや雨の日が多かった。月降水量は 305.0 ミリで平年よりかなり多かった。

6 日は低気圧の影響で日最大 1 時間降水量 64.0 ミリ、日降水量 212.5 ミリ、月最大 24 時間降水量 212.5 ミリ、月降水量 305.0 ミリを観測し、それぞれ 2 月の多い方からの極値 (1 位) を更新した。

<3月>

高気圧と気圧の谷が交互に通過し、天気は周期的に変化した。

4 日に、3 月の日最小相対湿度の極値 (32%) と同値を観測した。

<4月>

高気圧と気圧の谷や前線が交互に通過し、天気は周期的に変化した。

月降水量は 40.0 ミリで平年の 34% と少なかった。

<5月>

期間のはじめは、天気は周期的に変わり、その後は台風や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。沖縄地方は 5 月 22 日頃に梅雨入りし、月降水量は 159.0 ミリで平年並だった。

<6月>

上旬の天気は周期的に変わり、中旬から下旬にかけては、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。沖縄地方は 6 月 17 日頃に梅雨明けし、月降水量は 89.0 ミリで平年に比べて少なかった。

<7月>

期間の前半は、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、期間の後半では熱帯低気圧の影響で雨の日が多かった。

<8月>

期間のはじめと下旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、その他の期間は低気圧等の影響で曇りや雨の日が多かった。

<9月>

上旬初めと中旬は、気圧の谷や台風第 13 号の影響で曇りや雨の日が多く、雷を伴う日もあった。その他は高気圧に覆われて概ね晴れの天気となったが、大気の状態が不安定となりわか雨や雷雨の日もあった。月平均気温は 28.0 で平年に比べて +0.7 と高く、「月平均気温の高い方から」の観測史上 10 位を、月降水量は 31.5 ミリで平年に比べて少なく、9 月の「月降水量の少ない方から」の観測史上 7 位を更新した。

<10月>

期間の初めと終わりは、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、その他は前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く雷を伴う日もあった。月平均気温は 26.4 で平年に比べて +1.1 とかなり高く、「月平均気温の高い方から」の観測史上 5 位を更新した。

<11月>

期間の中旬までは、高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、前線や気圧の谷の影響で

雨の日もあった。下旬は、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。7日及び8日は日最高気温 30.8 を観測し、11月の「日最高気温の高い方から」の極値(1位)を更新した。

8日10時30分頃、南大東島の南東約5km海上で竜巻が発生し、南大東島地方気象台は大東島地方に竜巻注意情報を発表した。

<12月>

高気圧に覆われて晴れの日が多く、顕著な少雨、多照となった。月降水量は7.0ミリで「月降水量の少ない方から」の極値(1位)を更新した。

2. 気温

2008年の南大東島の年平均気温は、23.3であった。

月別では、平年より低い月は2月、3月、4月、5月で、他の月は平年より高く、特に1月は平年より+1.5でかなり高く、1月の「月平均気温の高い方から」の観測史上4位を更新した。

また、「日平均気温25以上年間日数」は162日で、観測史上10位を更新した。

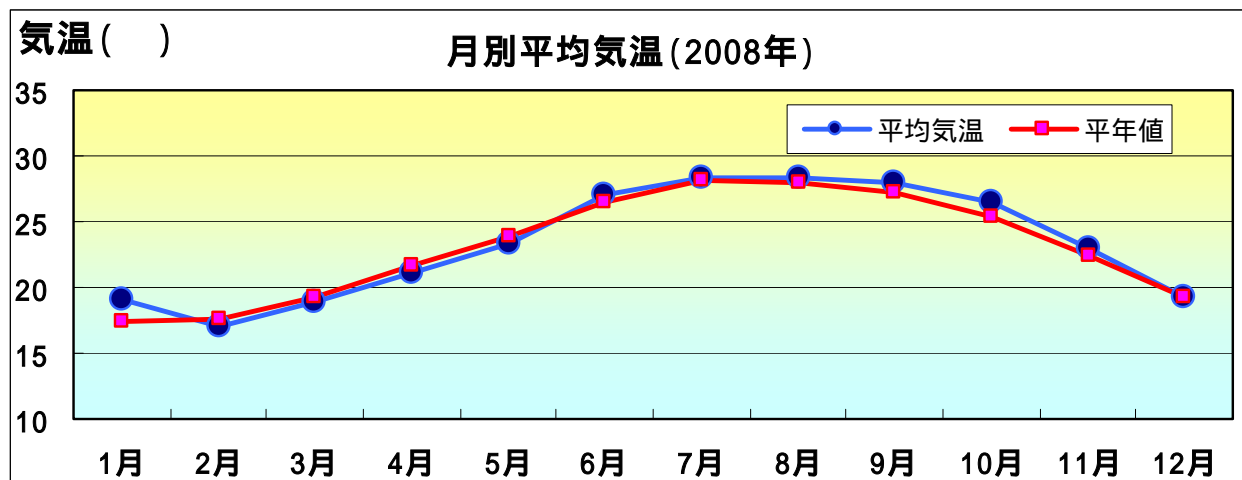


図1 南大東島の月別の平均気温と平年値

表1 南大東島の月別の平均気温と平年値

要素/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均気温
平均気温	19.0	17.0	18.8	21.2	23.3	27.1	28.4	28.3	28.0	26.4	22.9	19.3	23.3
平年値	17.5	17.6	19.2	21.6	23.8	26.5	28.2	27.9	27.3	25.3	22.5	19.3	23.1

表2 旧東と北大東島の月別平均気温(統計期間が30年に達しないため平年値はなし)

地点/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均気温
旧東	18.8	18.6	19.5	20.7	23.7	26.9	29.0	28.5	28.3	27.0	23.4	20.3	23.7
北大東島	18.9	18.6	19.5	20.7	23.6	26.9	29.0	28.8	28.6	27.1	23.5	20.5	23.8

3. 降水量

2008年の南大東島の年降水量は、1380.5ミリで平年の約84%であった。

月別では、1月、4月、6月、7月、9月、12月は平年より少なく、特に12月の7.0ミリは12月の「月降水量の少ない方から」1位を更新した。一方、2月、11月は平年より多く、2月の305ミリは2月の「月降水量の多い方から」1位を更新した。

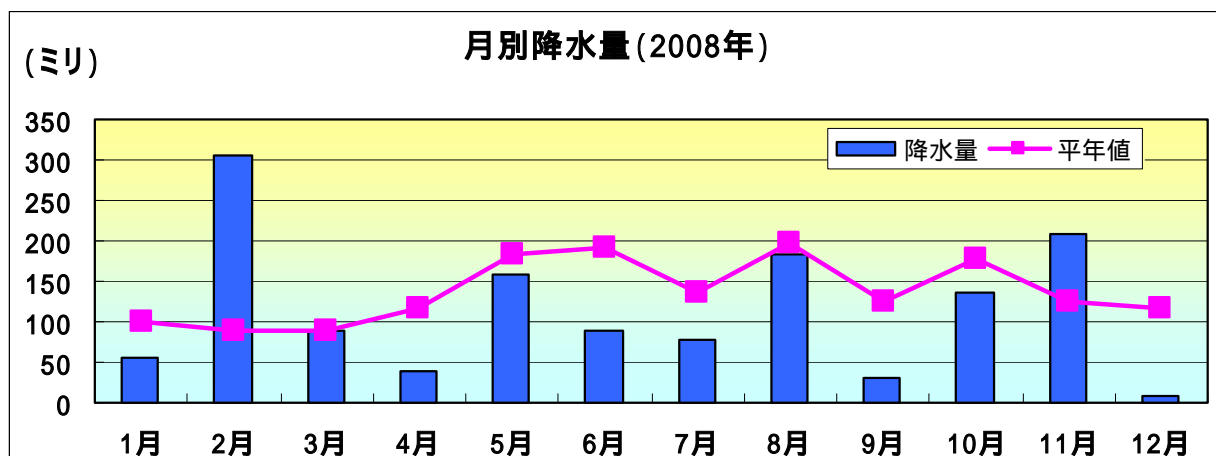


図2 南大東島の月別の降水量と平年値

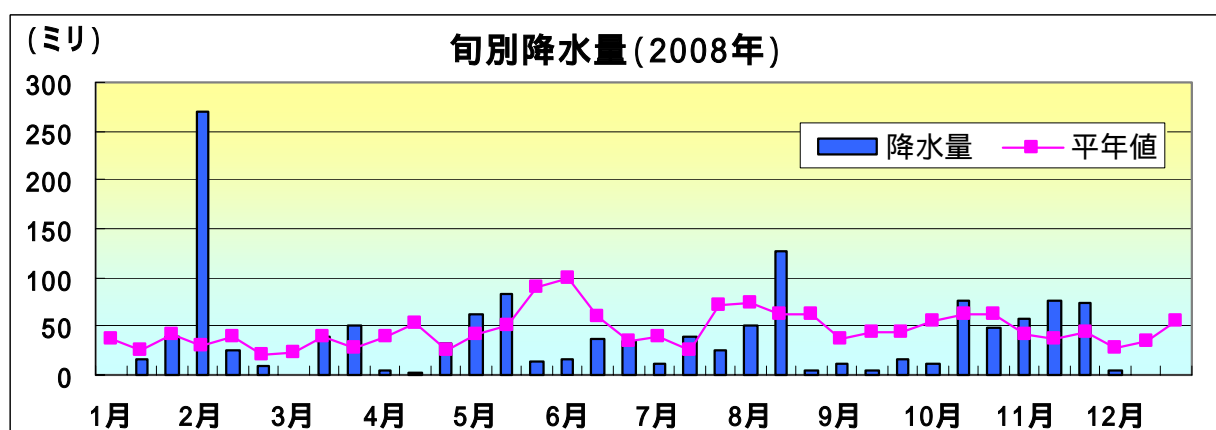


図3 南大東島の旬別の降水量と平年値

表3 南大東島の月別の降水量と平年値

要素/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年降水量
降水量	55.0	305.0	89.5	40.0	159.0	89.0	76.5	183.0	31.5	135.5	209.5	7.0	1380.5
平年値	101.3	88.6	89.8	117.3	182.1	192.7	135.8	197.9	123.9	179.0	123.9	117.5	1649.8

表4 旧東と北大東島の月別平均降水量 (統計期間が30年に達しないため平年値はなし)

地点/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年降水量
旧東	122	30	92	122	25	213	113	77	116	128	110	168	1316
北大東島	121	29	80	149	27	189	95	65	105	189	101	133	1283

4. 梅雨

2008年の沖縄地方の梅雨期間は、5月22日ごろから6月17日ごろまでで、南大東島のこの期間の降水量は、69.5ミリを観測した。梅雨前線の活動が弱かったため降水量は少かった。梅雨期間は26日間で、沖縄地方の最も短い梅雨期間の3位を更新した。

表5 梅雨期間の降水量（北大東島と旧東は統計期間が30年に達しないため平年値なし）

地点	梅雨期間	5月～6月（2か月間）		
	5月22日～6月17日	降水量	平年比	平年値
南大東島	69.5ミリ	248ミリ	66%	374.8ミリ
旧東	69ミリ			
北大東島	54ミリ			

5. 日照時間

2008年の南大東島の年日照時間は、2022.6時間で平年並だった。

月別では、1月、2月、4月、5月は平年より少なく、特に、2月の75.4時間は平年の69%で、2月の「月間日照時間の少ない方から」の観測史上7位を更新した。また、10月、12月は平年より多かった

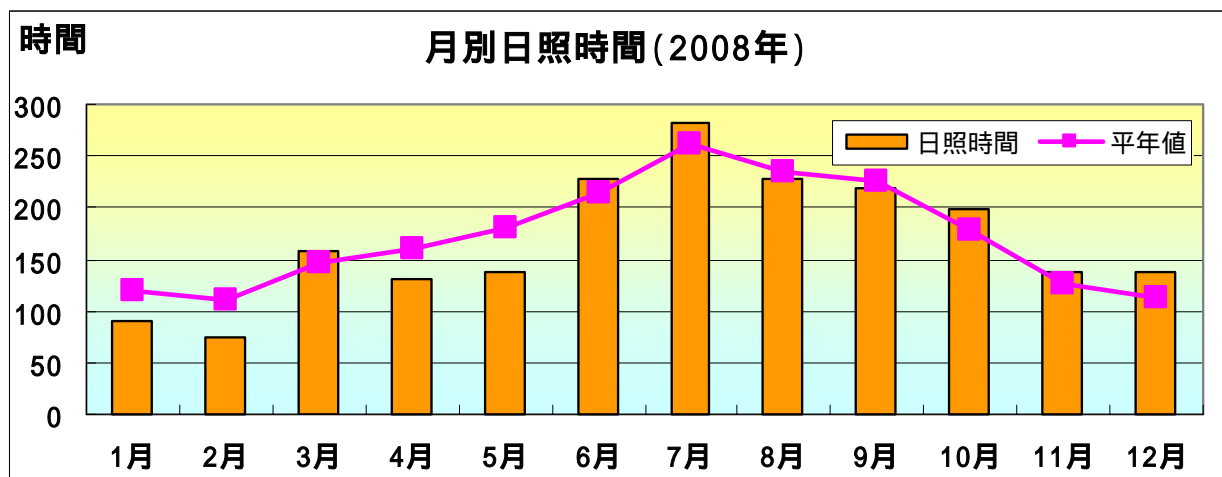


図4 南大東島の月別の日照時間と平年値

表6 南大東島の月別の日照時間と平年値

要素/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年日照時間
日照時間	89.9	75.4	159.0	131.5	138.1	227.0	281.7	227.3	218.8	198.8	137.7	137.4	2022.6
平年値	120.5	109.8	145.6	159.6	180.2	214.8	262.2	235.5	225.4	178.4	126.6	112.7	2071.2

6. 台風

2008年の台風発生数は22個（平年26.7個）だった。沖縄県に接近した台風は6個で、このうち2個（3号、4号）が南大東島に接近した。

台風第3号

台風が南大東島に接近したのは、5月16日09頃から16日21時頃まで、最接近は16日15時頃で南大東島の南南東約90kmの海上を通過した。この台風の強風域に入ったのは16日10時頃から16日18時頃までで、最大風速は東北東の風14.2m/s、最大瞬間風速は北東の風24.8m/s、総雨量67.0ミリを観測した。

台風第4号

台風が南大東島に接近したのは、5月19日22時頃から20日07時頃まで、最接近は20日02時頃で南大東島の南南東約210kmの海上を通過した。この台風の強風域に入ったのは、20日03時頃から20日05時頃までで、最大風速は北の風9.5m/s、最大瞬間風速は北の風16.3m/s、総雨量4.0ミリを観測した。

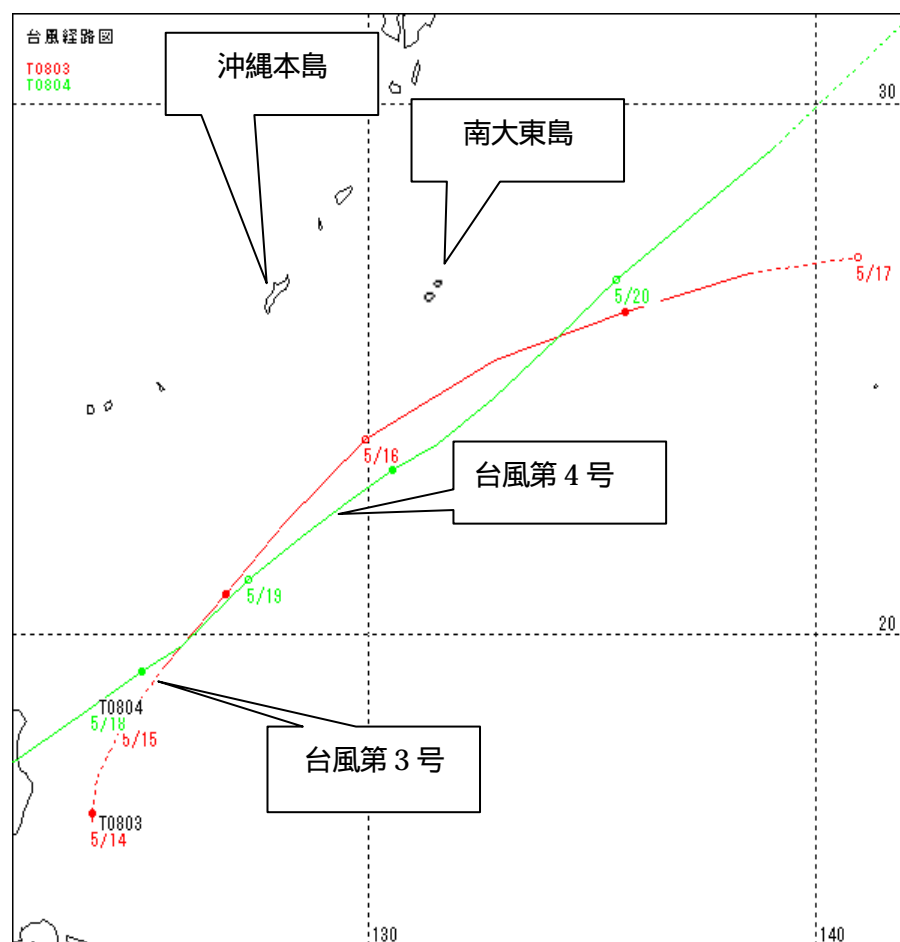


図5 大東島地方に接近した台風の経路図 (2008年)

表7 2008の台風の接近数 (台風が中心が気象官署から300km以内に入った場合)

地域/月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
沖縄県への接近数	2	-	2	-	2	-	6
大東島への接近数	2	-	-	-	-	-	2

7. 生物季節

2008年はサルスベリの開花が、平年より2週間程度早かった。
他の動植物の観測日と平年値は、表8、表9のとおりである。

表8 2008年の植物観測

種目名		現象	2008年	平年値
指定種目	ヒカンザクラ	開花	1月25日	1月19日
	ヒカンザクラ	満開	2月4日	2月1日
	サルスベリ	開花	5月8日	5月28日
	ススキ	開花	11月4日	10月21日
	ツバキ	開花	12月6日	12月7日
選択種目	デイゴ	開花	3月26日	3月25日
	テッポウユリ	開花	5月6日	4月23日
	ヒガンバナ	開花	9月13日	---
	リュウキュウコスミレ	開花	12月10日	12月9日

表9 2008年の動物観測

種目名		現象	2008年	平年値
指定種目	ウグイス	初鳴	2月15日	---
	ツバメ	初見	3月29日	3月17日
選択種目	モズ	初鳴	8月31日	8月30日

8. 顕著現象（竜巻）

11月8日10時30分頃、南大東島の南東約5km海上で漏斗雲が発生し渦が海面まで達しているのが確認された（写真参照）。竜巻は、ゆっくり北北東に進み、1時間程度で消滅した。この竜巻による被害はなかった。

この日の大東島地方は、気圧の谷の影響で、所々で発達した積乱雲が発生していた。南大東島地方気象台は、大東島地方に竜巻注意情報を発表し住民に注意を喚起した。



写真提供：南大東空港事務所 狩俣氏



写真提供：島まるごと館 東氏

9. 地震

2008年、大東島地方とその周辺で2761回の地震を観測した。このうち、震度1以上を観測した地震は66回、震度3以上の地震が2回発生した。

4月18日14時58分に沖縄本島近海でM5.2の地震が発生し、国頭村から南城市にかけて震度1を観測した。

同日16時43分にM4.8の地震、16時45分にM5.0の地震が発生し、沖縄本島の一部で震度1を観測した。この震源付近では、M5.0以上の地震が時々発生している。

7月8日16時42分に沖縄本島近海でM6.1の地震(深さ45km、今期間最大規模)が発生し、鹿児島県の与論町で震度5弱、名護市や国頭村などで震度4を観測するなど、奄美大島から沖縄本島及び周辺離島にかけて震度5弱～1を観測した。

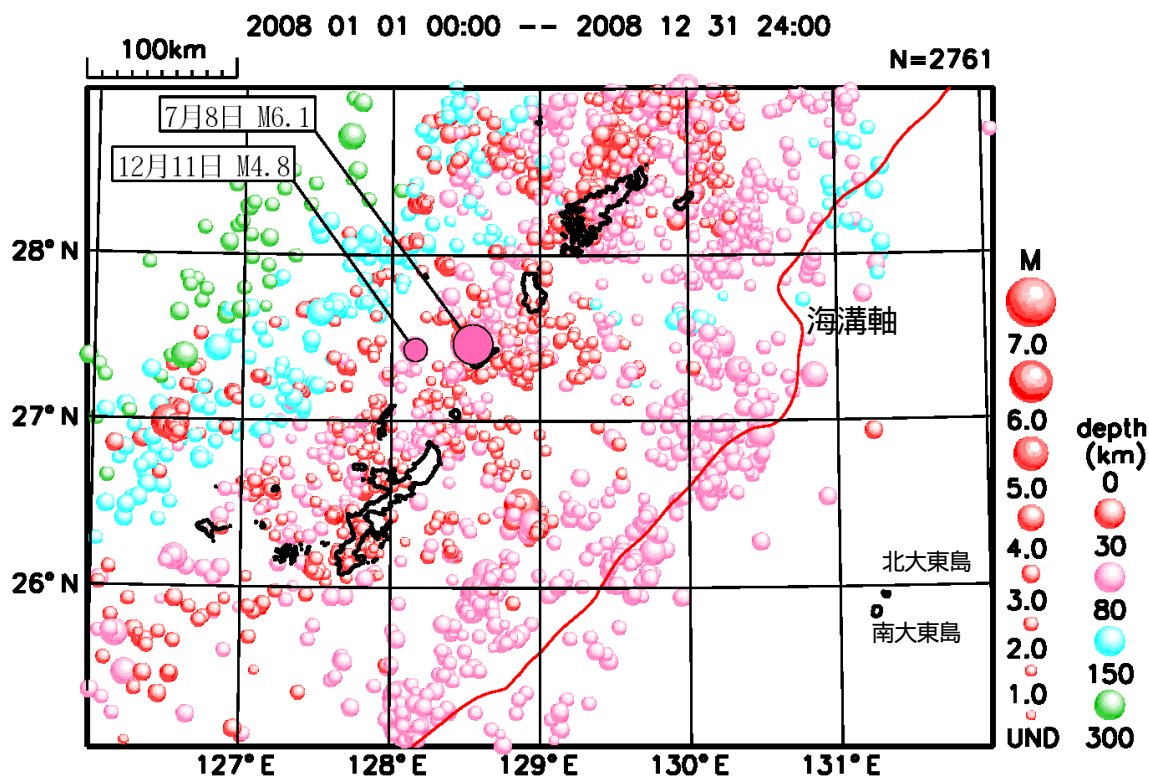
なお、この地震に対し、気象庁は緊急地震速報(警報)を発表した。

8月4日19時25分に沖縄本島北西沖(久米島の北約75km)でM5.4の地震(深さ11km)が発生し、久米島町、本部町で震度2を観測したほか、沖縄本島および久米島を含む周辺離島で震度1を観測した。

8月9日20時54分に沖縄本島近海(那覇の東北東約120km)でM5.2の地震が発生し、沖縄本島などで震度2～1を観測した。

なお、大東島地方で震度1以上を観測した地震はなかった。

2008年における大東島地方とその周辺の震央分布図を図1に示す。震度3以上を観測した地震とM6.0以上の地震については日付を付した。



図中の記号 M: マグニチュード UND: マグニチュードが求まっていない
depth: 地震の深さ N: 地震回数

図6 大東島地方とその周辺の震央分布図(2008年1月1日~12月31日)